

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例870

発生場所	病院の外（敷地内）	精神・意識障害の有無	リスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
発生場所（その他）	—	無	
関連したもの	杖、タイヤ止めブロック	発生内容の分類	
		転倒	

発生内容

駐車場内の車止めにつまづき転倒、頭部打撲および肘頭骨折した

概要

91才の男性。家族に付き添われ、杖歩行で外来受診した。帰宅する際、駐車場で車止めブロックにつまづき転倒し右肘、右前頭部打撲し出血した。救急外来の医師が診察し、右眉尻の挫創・出血あり。右肘部に疼痛あり。両肘関節XPにて右肘頭骨折が認められた。右眉尻の挫創は、縫合などの外科的処置を行った。右肘頭骨折については、整形外科医が診察しシーネ固定した。家族へ、今後手術が必要なこともあると説明された。帰宅指示書を用いて説明、帰宅した。その後、当院外来通院し経過をみた。

要因

立体駐車場内は、中央に歩道がなく、外来通院者は駐車されている車の狭い間を通り抜けており、車止めブロックに気づかず、つまづき転倒した。立体駐車場1階は、昼間でも薄暗く車止めが見えにくい状況にあった。

対策

立体駐車場の歩道を整備した。駐車スペースを一部減らし、中央に歩道を造り、左右の駐車スペースに入っていけるようにした。車止めブロックは、蛍光塗料を塗り目立つようにした。

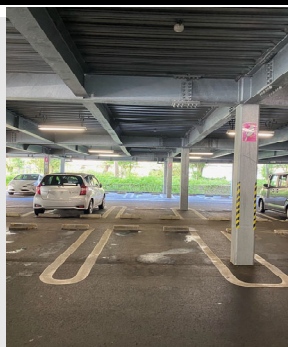
参照



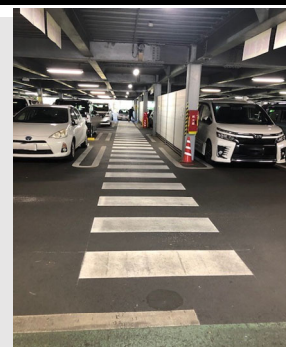
タイヤ止め改善前



タイヤ止め塗装後



改善前（通路なし）



改善後（通路あり）